キャラクター名
海堂 克哉[ｶｲﾄﾞｳ ｶﾂﾔ]

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル エグザイル	ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	FHチルドレン
オプショナル		年齢	18	性別	男
覚醒	渇望	衝動	殺戮	初期侵食率	46 %
出自	義理の両親	経験	力の暴走	邂逅	進化

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	0			5
感覚	2		0			2
精神	0		1			1
社会	2		0			2

HP	161
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報： FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
骨の剣		-1	6	+[LV+5]+6		演出的には拳に鉤爪が生えて、生成と同時に全身も姿を変えていく感じ
		0				
厭忌の鎖(ヘイテスト)	白兵	8r+1		12		1+2+3+4+5 2体に白兵攻撃、命中-1の補正。1点でもダメージを与えた場合、バフ:憎悪を付与する。憎悪の対象は自身。
	白兵	10r+1		13		同上 対象は3体

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
濃縮体	
イフリートの腕	
情報収集チーム	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：超血統	P	N		
Dロイス：遺産継承者	P	N		
固定ロイス：家族	P 幸福感	N 無関心		
シナリオ："血流の雨（ﾏﾘｼｬｽﾚｲﾝ）"	P 好奇心	N 脅威		
PC間：笛江志絵瑠	P 幸福感	N 嫌気		
Sロイス：村崎水菜	P 庇護	N 偏愛		
ハル	P 感服	N 嫌気		

最大財産P: 4	残り財産P： 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：エグザイル	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果： C値-LV(下限7)								
伸縮腕	2	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果： 組み合わせた攻撃の射程を視界に変更 判定ダイス-[3-LV]個								
貪欲なる拳	2	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 判定ダイス+[LV+1]個								
異形の祭典	1	3	メジャー	武器	範囲（LV+1	対決	-	
効果： 組み合わせた白兵攻撃の対象を範囲(LV+1)体に変更 1シーン1回								
骨の剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 素手データの変更								
異形の刻印	12	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果： 13レベルで取得 最大HP+[LV*5] 侵食率上昇なし 侵蝕率基本値+3								
ブレインハック	1	10	メジャー	-	-	対決	-	
効果： 攻撃名中で、憎悪を付与 憎悪の対象は選択								
炎陣	2		オート					
効果： カバーリング 1レベル分は偉業の刻印の代替								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「そんなことよりさァ、結局あんたは強いのか？」
葉琴市FHセル所属の少年。
本人曰く、頑丈なことが取り柄。
能力を解放すると姿が変貌する。
遠距離から鉤爪を伸ばして相手に打ち付ける。
鉤爪に触れたものは一時的に強烈な憎悪に囚われる。

幼い頃に両親に捨てられ、孤児院の職員に拾われた。幼少時代は拾われた施設で何人かの兄弟姉妹とそれなりに幸せに暮らしていたが、ある時孤児院に強盗が押し入り義理の両親を殺害してしまう。倒れゆく両親を目の当たりにし、両親を守れなかったことと家族を守るために力を渇望したことにより、オーヴァードとしての能力に目覚める。だが、目覚めた力は幼子の身にはあまりに強大なものであった。皆を護る為のチカラは暴走し、家族含めその場にいた人間を全員殺害した。
自らの力で家族を殺してしまったことで失意の底で彷徨っていたところ、FHにオーヴァードとしての力を見初められそのままFHに所属する。
自身を拾ったエージェントに『これがあればキミはもう暴走することはない！』と言って遺産〈イフリートの腕〉を移植される。最初の内こそ能力を制御するために力を求めていたが、能力を鍛える力が強大化するにつれ遺産の力で過去の哀しみが薄れていき目的が変質。大切なものを守るためではなく、誰も届くことのない遥かなる高みへと到達するために力を求めるようになる。そのため強い相手と戦えることに悦びを見出す。
遺産の代償として、喜怒哀楽の感情の中でも哀が欠落。